

おばなざわ 市議会だより 99号

平成30年11月1日発行



9月定例会

- 平成29年度決算認定…………… 2
- 決算特別委員会…………… 4
- 分科会委員長報告・請願…………… 6
- 7月臨時会…………… 7
- 一般質問…………… 8
- 新人議員紹介…………… 21
- モニターの声…………… 23
- 私のひとこと…………… 24

私のひとこと

平成最後の成人式



誓いの言葉

成人代表 大類 海斗
大戸 莉紗

本日は、成人を迎えた私たちの門出のために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。お集まりの皆さまはじめ、多くの方々に私たちの成人を祝福していただき、厚く御礼申し上げます。今日、新成人として皆様と共にこの場に立たれたことを大変うれしく思います。小学校、中学校、高校を卒業し、授業や部活動を通して心身ともに成長し、社会に出て成人となりました。

私達をいつも支えてくれた家族や、ご指導いただいた先生方、見守っていただいた地域の皆さまのおかげで、このように成人式を迎えることが出来ました。これから私たちは、皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、大人としての自覚、誇りを持ち、社会へ貢献し、輝かしい未来への担い手になっていくことをお約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

行政視察に 来市された議会

大阪府守口市議会の6名が8月2日に市民図書館のあり方について視察に来市されました。

**表紙の説明
フライング
シューズ大会**
9月14日、上柳健康増進施設で開催。玉野地区老人クラブ連合会主催で、今回は6回目で60人が参加しました。

**尾花沢市議会
インターネット中継**
市のホームページからアクセスできます
www.city.obanazawa.yamagata.jp

発行責任者
議長 須貝 孝
市議会だより編集委員
委員長 小関 英子
副委員長 鈴木 裕雅
委員 青野 隆一
委員 塩原未知子
委員 笹原 和子
委員 伊藤 浩
委員 鈴木 清

議会日誌 (抜粋)

- 8月**
 - 9日 山形県市議会議長会議員研修会
 - 10日 全員協議会
 - 15日 尾花沢市成人式
 - 22日 林活議員連盟研修会
 - 24日 全員協議会
 - 新庁舎建設工事現場視察
 - 総務文教常任委員会協議会
 - 28日 おばなざわ花笠まつりパレード参加
- 9月**
 - 4日～21日 9月定例会
 - 28日 北村山公立病院組合議会視察研修
 - 環境衛生事業組合議会視察研修
 - 29日 総合防災訓練
 - 30日 首都圏尾花沢会総会
- 10月**
 - 5日 三市一町議会議員交流事業
 - 6日 まるだし尾花沢ふれあいまつり
 - 9日 北村山広域行政事務組合議会
 - 10日 全員協議会
 - 13日 やまがた美しい森林づくり推進大会
 - 15日～17日 総務文教常任委員会行政調査
 - 産業厚生常任委員会行政調査
 - 24日 北村山広域行政事務組合議会視察研修
 - みやぎ尾花沢会通常総会
 - 26日 環境衛生事業組合議会

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

8月5日、6日
記録的な豪雨が本市を直撃
大きな被害が発生

平成29年度決算を認定

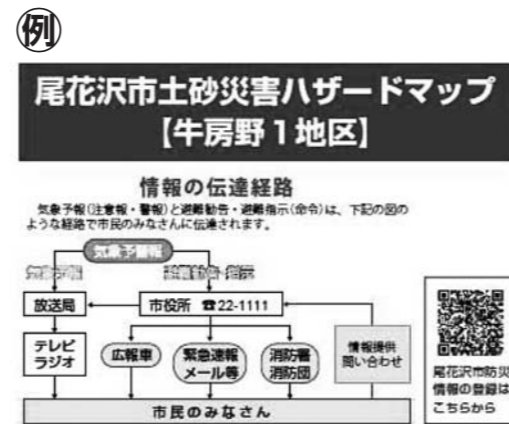
平成30年度補正予算

豪雨災害対策費など 8億3,451万円を追加

主な内容



農業施設及び公共土木施設災害復旧事業
2億6,455万円



除雪業務委託料 5,000万円
除排雪機械等借上料 2,800万円



荒楯地区分譲宅地定住支援事業補助金
320万円 (5区画分)

- ◎一般会計歳出 131億3,337万円
- ◎特別会計歳出 52億9,146万円
- 歳出総額 184億2,483万円

特別会計の科目別決算額

国民健康保険特別会計	事業勘定	24億5,840万円
	中央診療所施設勘定	3億7,924万円
簡易水道特別会計		2億4,554万円
国宮村山北部土地改良事業特別会計		154万円
農業集落排水事業特別会計		6,708万円
介護保険特別会計		19億4,324万円
後期高齢者医療保険特別会計		1億9,642万円

主な内容



老人福祉事業 556万円
(敬老会活動支援)



新庁舎建設事業 9億2,657万円



除雪サービス事業 1,848万円



放課後児童クラブ支援事業 2,755万円

定例会のあらまし

平成30年9月定例会は9月4日から21日まで18日間の会期で開催され、平成29年度各会計決算認定7件、平成30年度一般会計補正予算5件、他7件の議案が提出されました。また、人事案件2件が上程され、慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。請願は2件を採択し閉会しました。その主な内容を紹介いたします。

入念にチェック!!

平成29年度
決算特別委員会

図書館の利用状況

Q 図書館の利用者や貸し出し冊数が年々減少しているが、何が原因と考えているか。

(鈴木 清)

A 児童数の減少、スマホ・タブレットなど電子媒体の普及、他市町の図書館のリニューアルなどが考えられる。蔵書数では劣っていないが、さまざまな企画を工夫して努力している。

家庭内保育 応援事業

Q 家庭内保育応援給付金事業は、101戸を対象に1千2百万円以上が交付されているが、対象外の親からは、バラマキ政策と指摘されているが、見直してはどうか。(加藤克彦)

A 若い子育て中の親からは不公平だと意見

備品購入

があることも聞いている。今後、見直しを検討したい。

Q 赤ちゃんおでかけサポート備品購入は、何を購入し、どこに設置したのか。

(和田 哲)

A おむつ交換台と授乳イスを購入し、徳良湖南側のトイレ、レストラン徳良湖、オートキャンプ場、花笠高原スキー場にそれぞれ設置した。



路線バス運行

Q 路線バスは、昨年度より利用者が多くなっている。高齢者の利用が多く、昇降ステップを設置してはどうか。(奥山 格)

A 現在運行しているバスのステップ設置は、構造上難しいが、今年度更新する車輛は、自動的に昇降ステップが出てくるものを購入する予定である。

一般会計の繰越金

Q 平成29年度の一般会計繰越金は、8億2千万円と多額である。必要な事業は年度内に実施すべきではないか。

(青野隆一)

A 各課からの要求があれば、できるだけ対応していきたい。

元気な地域づくり

Q 元気な地域づくり交付金の中に、銀山区まちづくり事業があるが、大湯の解体後の活用はどうなっているか。(武田佳久)

A 地域からは、源泉の利用を第一に考え、源泉の配湯設備と足湯を作る補助の要望書が提出されている。また、銀山区まちづくり事業として、東京大学から講師を迎え、5回の授業を行った。



区長報酬見直し

Q 区長職務は多忙なうえ、自主防災会組織のリーダーとしての役割も加わり、責務が膨大になってきている。報酬アップの必要はないか。(塩原未知子)

A 他市町村から比べて高い方の報酬設定だが、近年は災害も多く検討も必要である。

指定管理料

Q 徳良湖周辺施設の指定管理料が年々増加



防災無線

しているのはなぜか。

(星川睦子)

A Wi-Fi設備を公共施設に付属させ利用している。屋外のアクセスポイントの機器は、市の財産ではなく、企業のレンタル料金として指定管理料を増額している。



Wi-Fi屋外アクセスポイント機器

風疹予防接種

Q 未来の子供の健康を、風疹の感染から守るための対策は行っているのか。(小関英子)

A 母子健康手帳を交付する時に、配偶者及び家族の方に風疹抗体価検査を推奨し、陽性反応の場合、検査費用と予防接種費用の助成を行っている。

消防職員の 技能講習

Q 職員の教育訓練計画に基づく技能講習はどのようになっているか。(伊藤 浩)

A 現在若い職員が多くなっているので、車両系技能講習など計画的に受講できるように、職務に合わせた訓練計画を作成し、実施している。

大会出場激励金

Q スポーツ大会出場激励金は、対象が高校生以上となっているが、スポ少等にも拡充を図るべきではないか。(星川 薫)

A 尾花沢市スポーツ大会出場激励金支給要綱により、高校生以上に支給している。中学生には選手派遣費として経費全額を支給し、小学生には市の体育協会より激励金同等に支給している。子供たちがよりスポーツをしやすい環境づくりを検討していきたい。

延沢城跡ジオラマ

Q 今回の延沢城跡模型製作は、本丸を中心に民家まで再現されたジオラマが完成している。これの活用方法はどのようなのか。(笹原和子)

A 一昨年製作したジオラマと一緒に、市民図書館、各地区公民館を巡回展示し、今後学校などの出前授業や、まるだし尾花沢ふれあいまつりに展示する。



延沢城跡ジオラマ

花笠まつり開催日

Q 今年の尾花沢まつりは月・火の開催で今後数年は平日開催が続く。会社を休んでの参加は負担も大きく、観光客も土・日開催の方が多いと思うがどうか。

(大類好彦)

A 村山市も土・日開催で、新庄まつりとも重なる可能性があり、露店の減少にもつながる。関係団体と調整しながら検討したい。

議長 須貝 孝
監査委員 菅野修一
決算特別委員長 鈴木裕雅
右の3名は役職の都合上、質疑は出来ません。

決算特別委員会 分科会委員長報告

第1分科会 (総務文教)

北村山広域行政事務組合

すでに完了した事業もあり、今後、広域組合のあり方については、構成市町で検討するよう要望した。

地域開発費

地域除雪活動支援事業をひとり親世帯や除雪困難世帯などが、より多く利用できるように制度内容の周知を要望した。

防災対策費

空き家の雪下しは危険が伴うため、市民の安全に留意し、今後は行政代執行による空き家の解体についても検討を進めるよう要望した。

居住空間無雪化支援事業

市民の目線に立ち、さらに効果的な事業となるよう要望した。

学校管理費

学校トイレ改修工事について、地域で多くの団体が休日にグラウンドを使用している。休日でも外から利用できるトイレについて検討されるよう要望した。

スクールバス運行事業

登下校だけでなく、校外学習や部活動にも活用している。スクールバスの運行区域に属さない遠距離通学の児童・生徒についても、地域の事情にあわせバスの運行経路について検討するよう要望した。

耐震性貯水槽設置事業

老朽化している貯水槽の



ローラースキー大会

更新について計画的に取り組み、機能強化を図るよう要望した。

体育振興費

全国から多くの選手が出場する大会が数々ある、市のHPを活用し、イベント情報の周知を要望した。

第2分科会 (産業厚生)

雪対策・新エネルギー推進費

道の駅ねまるに設置されている急速充電器の負担金に関し、関係者と協議の上、今後の方向性を検討するよう要望した。

再生可能エネルギー熱利用事業

新エネルギーの取り組みにあたっては、これまでの取り組みの成果を形にし、今後も継続的に活用が図られるよう要望した。

民生委員児童委員活動事業

民生委員が個人情報を持つことによる責任や負担が重くなってきた。市、区長、民生委員が連携し情報共有を図り、業務の負担を軽減し、継続できる体制を構築するよう要望した。

保育所費

今後の出生数などを考慮

し、適切な保育定員数となるよう、市と民間事業者で協議・情報共有し、市の保育所のあり方について検討されるよう要望した。

土木費

東北中央自動車道「尾花沢―東根」間の開通を前に、道の駅尾花沢「ねまる」の重要性が高まる。十五周年に向け、インバウンド対応など観光拠点の充実を要望した。

河川総務費

8月の豪雨災害で、土砂が堆積している箇所が増えている。さらなる被害拡大や、流雪溝への影響もあるため、県と連携して現状把握に努め事業推進を要望した。

特産品販路拡大事業

ブランドینگが重要。知識を有する専門職の設置を検討し、さらに関係課と連携し推進されるよう要望した。

農業委員会費

農地の集積・集約化に向けた人・農地プランを通じて、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、担い手や新規就農者を支援し、遊休農地が解消されるよう要望した。

健康増進事業費

市民へのポイント対象事業については、健康に関心のある方々への周知方法や、ポイント対象事業を工夫し、「市民一人ひとりの主体的な健康づくり」の推進を要望した。



健康増進フェア

請願

請願第2号、3号とも採択され、意見書を作成し関係機関に提出した。

請願第2号

「常盤駐在所」の存続を求め、関係機関に意見書の提出を求める請願所」を今後とも存続すること。

請願者



連合区長会会長	笹原光政
常盤地区区長会会長	伊藤一雄
玉野地区区長会会長	坂本常義
宮沢地区区長会会長	高橋守悦
福原地区区長会会長	阿部良一
尾花沢地区区長会副会長	鈴木 勲

請願第3号

種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

- 1、試験場等の取組みが後退することのないよう予算措置等の確保を行うこと。
- 2、地域の共有財産である「種子」を民間に委ねることのないよう対策を講じること。

請願者

農民運動山形県連合会会長	小林茂樹
最北地方農民連会長	二戸 正
尾花沢市農業を守る会会長	菅野 駿

7月臨時会

7月31日招集、一般会計補正予算のうち商工費（徳良湖周辺土地鑑定評価と調査業務委託料）と消防費（鼓笛隊用の備品購入のため）を補正した。その他、尾花沢市医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について、外来医療と訪問看護の医療費自己負担限度額を月額14,000円とする2議案を可決し閉会した。



徳良湖周辺

尾花沢が良くなるには地域の活性化が重要

市長…地域住民との語らいの場を設けていく



伊藤 浩 議員

問 元気な尾花沢づくりをさらに進めていくためには、それぞれの地域の活性化を図るべきである。地域の課題をどう市政に取り入れていくのか。

答 地域の活性化のためには、まず地域の方々が集い、地域の課題について話し合い、共通認識を持つ事が重要と考える。地域住民との語らいの場を設け、自らが地域に赴き、地域の方々の声を聴きながら課題を共有し、共に取り組んでいきたい。

問 人口減少を少しでも抑えるために、市長が最も重要と考えている事は何か。

元気な尾花沢づくり

問 自主防災会で実施する地区毎の防災訓練

答 市長選挙にあたり、若い世代の定住・移住を促進する市有地活用や安価な住宅供給の推進を始めとする10の政策を掲げた人口減少を抑制していくためには、子育て環境の充実や間口除雪などの思いやりのある政策をバランス良く推進していく事が重要と考えている。



川遊び体験

問 防災対策

答 がほとんど実施されていない所がある。有事の際の防災能力を向上させるためにも、地区民全員が参加する防災訓練を計画的に実施してはどうか。

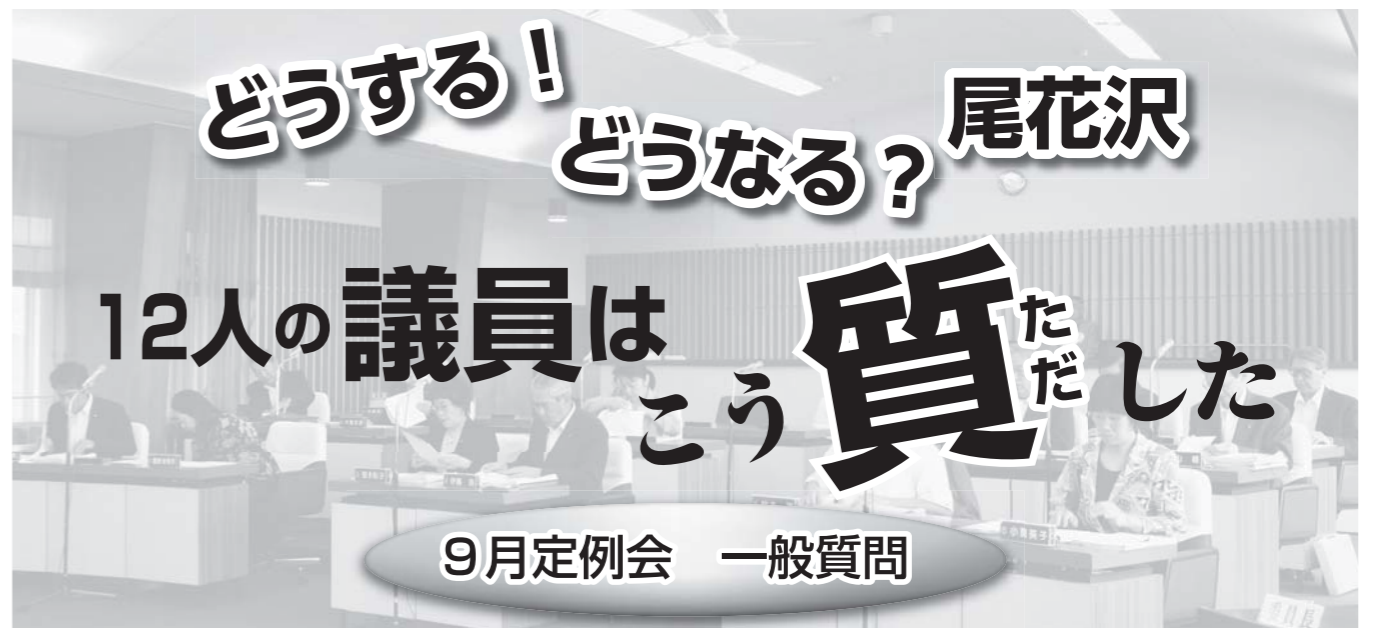
答 自主的な防災訓練の取り組みは、地域によってバラツキがある事は確かである。今回の豪雨災害においても人的被害は発生していないが、避難方法などの課題が残った。今後は地域共助による自主防災体制を強化したい。

問 鳥獣被害対策

答 新規に狩猟免許を取得する際に、市の補助制度があるが、年齢の上限が定められている。市民の活動を図るためにも見直しをすべきである。

問 現在作成されているハザードマップは現状と整合していない部分がある。防災情報ガイドを作成する前に見直しをすべきである。

答 県内22市町村で同様の補助を行っているが、年齢制限を設定していない所も多い。今後、猟友会と相談しながら見直しを図る。



◇掲載項目 ・その他の質問項目

伊藤 浩	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 元気な尾花沢づくりを更に進めるために ◇ 防災対策 ◇ 鳥獣による農作物の被害対策 	塩原 未知子	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 災害時緊急情報伝達の改善 ◇ 銀山温泉の防災と観光振興 ◇ 年々増える除雪費用の抑制と克雪、利雪、親雪対策 ◇ 日本遺産認定の尾花沢の文化財保護と伝承
青野 隆一	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 8・5集中豪雨被災農家をどう救済するのか ◇ 市民が主役のまちづくり協働のまちづくりをどう進めるのか ◇ 子育て日本一への挑戦をどう進めるのか ◇ 鳥獣被害対策をどう進めるのか 	加藤 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 複式学級 ◇ 広域観光連携 ◇ 豪雨災害 ◇ 間口除雪 ・ 日本農業遺産
星川 薫	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 市長の政治姿勢 ◇ 都市計画マスタープランにおける市街地整備構想 ◇ 防災 ◇ 障がい者雇用 	星川 睦子	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「認定新規就農者制度」「農業次世代人材投資事業」 ◇ 農業分野における外国人受け入れ ・ 公約「若い世代の定住移住を促進する市有地活用や安価な住宅供給の推進」 ・ 公約「市民みんなが参画する協働のまちづくり」
笹原 和子	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 尾花沢市の学園都市構想 ◇ 高齢者の居場所づくりの実現 ◇ 市内の学校、幼稚園・保育園にエアコンの設置を ・ 病児・病後児保育の実現 ・ 日本遺産認定 	鈴木 清	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生活保護制度の充実 ◇ 小・中学校にエアコン設置を ・ 障がい者雇用水増し問題と本市の課題
和田 哲	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 災害に強いまちづくり及び協働のまちづくり ◇ 活力ある産業づくりと移住定住の関係 ・ 全国消防操法大会 	奥山 格	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新市長として取り組んでいく重点的な施策 ◇ 8月豪雨災害の復旧 ・ 今年の尾花沢花笠まつり ・ 住民要望の文書化 ・ 個人情報保護に関する法律への過剰反応
小関 英子	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生命を守る防災減災対策 ◇ 観光交流人口拡大への対策 ・ 救急救命対策の拡充 	菅野 修一	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新市長は人口減少対策にどう挑むのか ◇ 農業農村集落を守れ ・ 徳良湖築堤100年に向けて ・ 重要物流道路指定に向けた要望活動

※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で行われています。

尾花沢の街づくりをどう進めるのか

市長…市有地を安価な宅地として分譲したい



星川 薫 議員

市長の公約

問 教育施設の集約「学園構想」を掲げているが、何年後を目途に行っていくつもりか。

答 学校教育検討委員会の検討内容を踏まえ、保護者をはじめとする地域の方々に耳を傾けながら、話し合いを重ね、任期中を目途に方向性を示したい。

問 新聞報道において、学校跡地を安価に分譲すると掲載していたが、どう進めていく考えか。

答 現在、未利用となっている市有地から優先的に検討することとし、将来的には尾花沢の学園構想による市有地を安価な宅

都市整備の進捗状況は

地として分譲したい。活断層があることについては、伏せるつもりはない。

問 都市計画マスタープランは、年次目標32年とし荒楯籠気線、籠気下新田線の整備を検討するとなつているが、現在の進捗状況は。観光や企業にとつても大きな役割を果たす重要な道路と考えるがどうか。

答 国道13号バイパスとのアクセス確保や交通混雑の緩和、特に市道荒楯線の交差点改良を重点に整備検討を行っている。

問 ニュータウン東光台地内の流雪溝整備促進に関する請願が平成23年

強靱な防災への取組を

問 防災無線は、十分な対策とは言えないため、要支援者宅においては※IP告知システムなどの導入を考えるべきではないか。

答 平成29年度流雪溝整備備計画全体計画の見直し作業の中で必要水量の整備延長、概算工事費などの調査を行っている。今回の調査で東光台地区の流雪溝の必要な水量を把握したのか関係機関と協議しながら検討したい。

障がい者雇用促進

問 尾花沢市役所における障がい者の雇用率は制度をみたしているか。

答 雇用率及び雇用人数ともに充足していない状況となっている。来年度には新庁舎も開庁し、障がいを持った方も利用しやすい庁舎環境が整うことから、労働局の指導も仰ぎながら、募集及び採用方法について検討したい。

住みつづきたい街にしたいな～急がねば!



議員のつぶやき…

豪雨で被災した農家の救済策を

市長…できるだけ負担軽減に努めたい



青野 隆一 議員

市民が主役のまちづくりを進めるのか

問 8月5日以降の豪雨で被災した農家からは、負担が大きすぎる、農業をやめたいとの声が多い。補助率の引き上げなどの支援策が必要ではないか。

答 小規模災害については、県の1/3補助も含めて、市としても積極的に農業者の負担軽減に努めていきたい。

問 「市民が主役のまちづくり」について①徹底して現場に行く②地域や職員との話し合い③市民が行きたくなる市役所づくりの3点をしっかりと進めてはどうか。

答 その通りと考える。市民や各種団体と膝を交えた話し合いを行いながら、市政に反映していきたい。

小中学校教室にエアコンの設置を

問 小中学校の教室冷房設置率は15・8%で県内平均の37・3%を大幅に下回っている。早急に工

問 放課後児童クラブや病児保育などをどう進めていくのか。



授業風景

答 アコンを設置すべきではないか。児童・生徒の健康を守り、教育環境の整備を図るため、国や県の補助事業を活用して、特別支援教室を含む全ての普通教室へのエアコン設置を進めたい。

鳥獣被害対策にモデル地区の設定を

問 鳥獣被害は市街地や小学校近くまで拡大し、いつ人的被害が起きるか心配だ。電気柵などの個人的な対応では限界があり、モデル地区を設定して取り組むべきではないか。

答 モデル地区については、猟友会や有害鳥獣被害防止対策協議会などと相談したい。

豪雨、台風、地震など特別なことではなくなってきた



議員のつぶやき…

災害に強い協働のまちづくりの前進を！

市長…共助公助による防災対策の強化を進める



和田 哲 議員

自助・共助・公助の連携を

問 今まで経験のしたことのない規模での災害が発生している。本市における地域福祉の状況は、自助・共助・公助の連携がさらに必要になる。災害に強い協働のまちづくりの推進について改めてうかがいたい。

答 災害にあたっては、自助を基本に、地域や近隣の住民が支えあう共助、行政支援による公助が円滑に連携することで実効性が得られるものであり、きめ細やかな地域防災力の強化と、行政の支援対策をさらに強化したい。



初期消火訓練

問 自主防災組織防災資機材購入事業および自主防災組織向上支援事業について、本年度の支援状況はどうか。

答 本年度8月末までの利用状況は、自主防災組織防災資機材購入事業費補助金について8件、自主防災向上支援事業費補助金について2件という実績になっており、地域共助による防災力強化に結び付けているものと考えている。

産業を支え、移住定住につなげる

問 資機材購入後、「どこで、どのように保管するのか」など、資機材を保管することに不安な声を持つ自主防災会もあるがどうか。

答 一部の自主防災会から、資機材の整備順序と保管する施設へ不安な声をいただいている。助言指導など、今後とも自主防災会の声をお聞きし必要に応じて対応にあたる。

問 資機材購入後、「どこで、どのように保管するのか」など、資機材を保管することに不安な声を持つ自主防災会もあるがどうか。

答 一部の自主防災会から、資機材の整備順序と保管する施設へ不安な声をいただいている。助言指導など、今後とも自主防災会の声をお聞きし必要に応じて対応にあたる。

新人です
まだまだ不慣れではありますが、がんばります



議員のつぶやき…

問 本市の重点プロジェクトにおける「新規雇用創出の人数」は、後期目標達成に向けてどのような推移をたどっているか。

答 本市は行政分野として、この会議にどのように関わっていくのか。

答 設立されたばかりで、あるため、地域や団体の現状や課題を把握したうえで、広域的に情報交換を図るなど、他市町と連携しながら定住対策に取り組みたい。

今後の学校のあり方、どう考えるか？

市長…子育て環境の充実を十分に話し合う



笹原 和子 議員

学園都市構想

問 市長公約である学園都市構想とは何か。

答 おもだか保育園と尾花沢小学校は、老朽化しているため、一体化を考えている。「学校教育検討委員会」での、検討内容を踏まえ、保護者や地域の方々と話し合いを重ねていく。

問 平成30年、市内の小中学生688人、中学生47人。6年後は小学生582人、中学生375人。昨年の出生は77人である。この現状を踏まえ、統合せざるを得ない状況ではないか。

答 少人数の学校では、子どもの成長に大きく関わる人間関係を育むの

尾花沢市小・中学校児童生徒数の推移と乳幼児の人数(H30.5.1現在)
(教育委員会資料)

①小学生の年度別人数

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
福原小	113	108	105	100	95	96	92
尾花沢小	413	391	380	379	368	364	345
宮沢小	37	39	38	38	42	39	42
玉野小	69	68	68	65	66	63	57
常盤小	43	45	37	38	40	38	38
鶴子小	13	11	12	10	9	9	8
小学校合計	688	662	640	630	620	609	582

②中学生の年度別人数

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
福原中	62	59	65	62	57	50	51
尾花沢中	321	319	288	263	250	241	243
玉野中	34	35	35	38	37	34	31
中学校合計	417	413	388	383	344	325	325

③乳幼児の人数

5歳児	104
4歳児	112
3歳児	89
2歳児	101
1歳児	104
0歳児	77

高齢者居場所づくりの実現

問 高齢化が進む中、高齢者が集える居場所づくりは、これからの重要な政策の課題と思うがどうか。

答 人生100年時代を迎え、高齢者が心身ともに健康で過ごせるように「街中カフェ」の構築で、生き

エアコンの設置を！

問 近年、酷暑による教育環境の整備が課題となっている。子どもの体調管理をするため、また勉強しやすい環境づくりのため、エアコンが必要不可欠である。市内の小中学校・保育園に、至急整備を進めはどうか。

答 国や県の補助事業を活用し、全普通教室へのエアコン整備を進めていく。

中学校の統廃合は
どうなるんだべ？



議員のつぶやき…

情報収集・発信と避難路整備の見直しを！

市長…自主防災組織と連携し改善していく



塩原末知子 議員

災害時の情報発信にWebラジオ局を

問 防災無線スピーカーは高額で維持管理経費が毎年台数分かかる。大雨や雪の難聴対策に不向き。対策本部と現場の連絡は、個人の携帯電話と聞いた。平時からの情報発信もかねた、防災Webラジオ局やSNSが有効ではないか。

答 災害情報は市公式ホームページや登録制メールで情報提供したが、実際の連絡は個人の情報端末に頼った。インターネットなどを利用した情報提供は、今後検討していく。

銀山温泉の整備と災害時の避難路は

問 散策道の工事もなかなか進まない。進捗はどうか。また冬期間、指定避難所までのルートがひとつだけだ。道が分断されれば孤立する。銀山川のハザードマップ作成と緊急迂回路の対応や避難所への誘導はどうか。

答 国宝重要文化財等保存整備費補助金を活用し、階段や手すりの修繕（LED化）、通路中間にステージ設置と、周辺の散策路を整備する。銀坑洞補修、遊歩道橋は今年度着工している。散策道の「かじか橋」は今年度中の着工予定。だが工事に至っていない。冬は迂回路の無い避難

毎年巨額の維持管理経費、、、子局増設よりやっぱりスマホが便利！



議員のつぶやき…

問 空き地バンクの活用は他市町村の動向を見て検討する。間口除雪は除雪作業時間の増による経費の増額が見込まれるが、各補助金・交付金を活用し、除雪業者と協議しながら効

答 空き地バンクの活用は他市町村の動向を見て検討する。間口除雪は除雪作業時間の増による経費の増額が見込まれるが、各補助金・交付金を活用し、除雪業者と協議しながら効

日本遺産認定

問 当市が「日本遺産」に認定された。特に「花笠まつり」は山形市の祭り、「発祥地尾花沢の花笠まつり」を、市外にどう周知していくのが大きな課題と思うがどうか。

答 「山寺が支えた紅花文化」はストーリーが大切。花笠音頭と踊りの発祥地尾花沢として、団体各所と連携して今後は情報発信していく。また次年度の予算獲得にむけて県などへ要望したい。

生命を守る防災減災対策を

市長…住民の意見を取り入れた情報冊子を作成する



小関 英子 議員

奥の細道330周年への取り組み

問 来年は、奥の細道紀行330年を迎える。松尾芭蕉10泊のまち・尾花沢の周知と、観光ルート整備が必要ではないか。

答 日本遺産・山寺が支えた紅花文化には、芭蕉清風歴史資料館が文化財として位置づけられている。最上町や河北町と広域的な企画を行う予定である。スマートフォンなどの音声ガイドの導入を考えている。資料館から、養泉寺など関連場所への、案内看板設置などを考えている。

問 市総合防災訓練で、ドローンを災害時に活用する取り組みが紹介されている。

答 8月の豪雨を経験し、市民の災害への意識や関心が高まっている。市内全戸配布予定のハザードマップに、地域住民の意見を取り入れ修正し配布してはどうか。

問 現在のハザードマップは、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域、避難場所・避難経路などで構成している。今回の防災学習・情報ガイドはハザードマップの情報に加えて、気象警報や防災学習、住民の意見を反映し、迅速かつ適切な避難行動に結びつけられる情報冊子を作成していく。



ハザードマップ

芦沢駅にご当地スタンプの常時設置を

問 駅のご当地スタンプ収集家も多くいる。芦沢駅への設置を考えているか。

答 花笠おどり発祥の地尾花沢デザインのスタンプを、終日設置していく。



芭蕉・清風資料館

自分の身は、自分で守るという気持ちが大事



議員のつぶやき…

将来、尾花沢の農地を誰に耕してもらうのか

市長…後継者・新規就農者を育成支援したい



星川 睦子 議員

認定新規就農者制度と農業次世代人材投資事業

問 農業したい人を大切に育成していくことが将来の農業にとって希望になる。今年度の一部改正は逆行ではないか。

答 8月2日付けで一部改正された「農業次世代人材投資事業」は、交付対象者の研修状態・就業状況報告の提出期限を豪雨災害などにより延期できるように改正され、返還要件も明記された。

問 給付金を返還しなければならぬ条件は、撤廃すべきだと思うが、国に強く要望していく考えはあるか。



稲刈り

認定新規就農者制度と農業次世代人材投資事業

問 受給期間満了後に就農しないなどの問題が発生したため、新規就農者支援策として「農業次世代人材投資事業」が実施され、返還規定も明確化されている。新規就農者の育成・確保を目的としているため、一定の条件を設けることは仕方ないと考えている。病気や災害などのやむを得ない事情がある場合は、返還が免除される。

答 農業分野に外国人受け入れの制度を進めるべき

問 建築や介護など多くの分野に外国人雇用が拡大されている。今年8月、農業支援外国人受け入れ事業が開始された。本市農業においては人手不足が深刻な問題である。このような問題に対し、今般の制度改正は大きな期待を持てるものである。本市農業の将来のために、早速準備を進めるべきと思うが、どの

問 市長が公約に掲げる間口除雪について、現在考えている除雪方法とそれを実行するための予算額はどうか。間口除雪を実施するための財源については、どうやって確保するのか。

答 国や県に対し「間口除雪」の必要性を訴えながら、新たな補助制度の創設や財政需要として地方交付税へ反映してもらえよう要望していきたい。

また、現在県において「新たな雪対策補助金の創設」を検討していることなので、間口除雪についても補助対象とするよう要望していく。

耕作放棄地は増やしたくない



議員のつぶやき…

複式学級解消に遠隔合同授業を

教育長…複式学級のデメリットを解消する有効な手段の1つだ



加藤 克彦 議員

遠隔合同授業

問 複式学級の解消に離れた複数の学校で、同時に授業を実施することができると遠隔合同授業を提案したい。

答 遠隔合同授業は、複式学級のデメリットを解決する手段の1つとして、有効であると認識している。ネット環境の整備は、こども教育課としての懸念事項でもあり、整備計画を現在検討している。環境が整うまでの間、スクールバスを活用し他校に移動しての合同学習なども検討したい。

問 観光地域づくりマネージャーの育成と尾花沢版DMOの推進体制をとり、人材や法人を育成または連携して、広域観光を推進してはどうか。

答 本市がDMOを進めるとすれば、県外の法人との連携や、観光地域づくりマネージャーの活用などの課題がある。当面は本市独自の取り組みを模索する必要があると考えている。

※DMO：地域にある観光資源に精通し、地域と協同して、観光地域作りを行う法人のこと
D（ディステイネーション）M（マネージメント）O（オーガニゼーション）の略

広域観光連携

問 この度の豪雨災害について、国へ激甚災害の指定支援及び災害復旧への財政支援を求めるときと考えるがどうか。

答 本市においても農地及び農業施設をはじめ道路や河川などにおいても大きな被害を受けている。県知事に対し「大雨災害に関する緊急要望」として激甚災害法適用についての国への働きかけと、最大限の財政支援などを強く訴えてきた。県と連携を図りながら国に対して支援を要望していく。

複式学級を解消したいなあ



議員のつぶやき…

8月の豪雨災害被害の早い復旧を

市長…早期復旧に全力で取り組みたい



奥山 格 議員

新市長これからよろしくお願ひします



議員のつぶやき…

問 新市長として取り組んでいく重点的な施策は

答 本市では農家の高齢化や後継者不足、製造業の企業など働く場の減少、また豪雪地帯でもあり、少子高齢化、過疎化が進行する中で、本市のおかれた現実はなかなか厳しい状況にある。新市長として、何を重点的に市政に取り組んでいく考えか。

答 本市の人口減少を抑制していくためには、これまで前市長が取り組んでこられた「子育て日本一の挑戦」をさらに推進し、子育て環境の充実を柱としながら、これまで尾花沢を支えてこられた高齢者に対する思いやりの政策に取り

問 8月の豪雨災害の被害の復旧

答 地すべりの危険区域などのがけ崩れなどによる土砂が県道、市道、農道を塞いで通行できなくなり、田の水管理などができなくなり米の生育に大きく影響を及ぼす事態となった。河川については、大雨により氾濫し、護岸が崩れた箇所、堤防の崩壊により耕作不能となった農地や、橋梁が破損した箇所もある。これらの被害件数や復旧状況はどうなっているか。

答 農業被害は、162件で29ヶ所の農地と農業用施設の被害額は、5千万円を超え、被災農家の多くは、仮住居の設置や崩落土砂の撤去などの仮復旧を実施し、収穫後に本復旧に着手する予定をしている。

問 牛房野地区の砂防えん堤の安全性について

答 牛房野地区の砂防えん堤の安全性については、県が施工・管理している。県によれば、今回流出した土砂は、砂防えん堤を越えたものではなく、下流側の水路が崩れ流出したものであり、砂防えん堤としての機能は十分果たしているとのことだ。その後土砂は撤去し、水路の機能は回復しているが、下流部の排水については対策を検討したい。

問 農業者の生活保護の捕捉率(要件を満たしているうちの実際の利用者の割合)は2割台と少なく、必要な人に行き届いていないのが現状だ。本市の捕捉率と申請後の決定率はいくらか。生活保護受給世帯数

答 7月に他市で生活保護利用者の60代女性が、料金未払いのため電気が止められ熱中症で死亡している。本市では、電気・ガス・水道などのライフラインが料金未払いの場合、一律で止めるのではなく個

必要な人が利用しやすい生活保護制度に

市長…捕捉率の算出の人数把握は困難



鈴木 清 議員

誰でも「健康で文化的な生活」ができるようにしてほしい



議員のつぶやき…

問 生活保護制度の充実を

答 厚生労働省が、4月以降に新規の生活保護利用者へ、エアコン購入費の助成(上限5万円+設置費用)の通知を出したが、本市では活用実績があるのか。

答 該当する世帯がないため実績はない。今後の利用者の生活の様子を確認し、制度の周知を徹底したい。

問 全国的な生活保護の捕捉率(要件を満たしているうちの実際の利用者の割合)は2割台と少なく、必要な人に行き届いていないのが現状だ。本市の捕捉率と申請後の決定率はいくらか。生活保護受給世帯数

答 7月に他市で生活保護利用者の60代女性が、料金未払いのため電気が止められ熱中症で死亡している。本市では、電気・ガス・水道などのライフラインが料金未払いの場合、一律で止めるのではなく個

問 8月の豪雨災害の被害の復旧

答 地すべりの危険区域などのがけ崩れなどによる土砂が県道、市道、農道を塞いで通行できなくなり、田の水管理などができなくなり米の生育に大きく影響を及ぼす事態となった。河川については、大雨により氾濫し、護岸が崩れた箇所、堤防の崩壊により耕作不能となった農地や、橋梁が破損した箇所もある。これらの被害件数や復旧状況はどうなっているか。

答 農業被害は、162件で29ヶ所の農地と農業用施設の被害額は、5千万円を超え、被災農家の多くは、仮住居の設置や崩落土砂の撤去などの仮復旧を実施し、収穫後に本復旧に着手する予定をしている。

問 牛房野地区の砂防えん堤の安全性について

答 牛房野地区の砂防えん堤の安全性については、県が施工・管理している。県によれば、今回流出した土砂は、砂防えん堤を越えたものではなく、下流側の水路が崩れ流出したものであり、砂防えん堤としての機能は十分果たしているとのことだ。その後土砂は撤去し、水路の機能は回復しているが、下流部の排水については対策を検討したい。

問 農業者の生活保護の捕捉率(要件を満たしているうちの実際の利用者の割合)は2割台と少なく、必要な人に行き届いていないのが現状だ。本市の捕捉率と申請後の決定率はいくらか。生活保護受給世帯数

答 7月に他市で生活保護利用者の60代女性が、料金未払いのため電気が止められ熱中症で死亡している。本市では、電気・ガス・水道などのライフラインが料金未払いの場合、一律で止めるのではなく個

問 生活保護制度は「健康で文化的な最低限の生活を営む」国民の権利であるが、市民への周知は生活保護のしおりなどで、気軽に手取りやすいよう工夫しているのか。

答 窓口には生活自立支援センターのチラシを設置し「一人で悩まないでまずは相談を」と呼びかけて対応している。

問 生活保護制度は「健康で文化的な最低限の生活を営む」国民の権利であるが、市民への周知は生活保護のしおりなどで、気軽に手取りやすいよう工夫しているのか。

答 電気・ガス事業者との協定は締結していないが、水道は連携し情報共有している。区長・民生委員の方々と連絡を密にし情報収集に努めている。

問 生活保護制度は「健康で文化的な最低限の生活を営む」国民の権利であるが、市民への周知は生活保護のしおりなどで、気軽に手取りやすいよう工夫しているのか。

答 窓口に生活自立支援センターのチラシを設置し「一人で悩まないでまずは相談を」と呼びかけて対応している。

問 小中学校にエアコン設置を

答 小中学校のエアコン設置率は何か。早急に設置すべきではないか。

答 15・8%と低く、児童生徒の健康を守るため、特別支援教室を含む全普通教室のエアコン設置を進めたい。

問 熱中症予防の緊急提言として、湿度・輻射熱・気温の3要素から算出される暑さ指数を用いた体育・部活動の実施判断を

答 すでに全校が熱中症指数計を備え計測し活用している。

平成30年7月31日現在

役職	議員名				
議長	須貝 孝				
副議長	星川 睦子				
総務文教常任委員会	◎笹原 和子 星川 睦子	○小関 英子 鈴木 裕雅	須貝 孝 星川 薫	武田 佳久 和田 哲	
産業厚生常任委員会	◎青野 隆一 加藤 克彦	○塩原未知子 大類 好彦	奥山 格 伊藤 浩	菅野 修一 鈴木 清	
議会運営委員会	◎大類 好彦 鈴木 清	○伊藤 浩 鈴木 裕雅	奥山 格	菅野 修一	

◎は委員長、○は副委員長

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会 議員	議長 奥山 格 伊藤 浩	大類 好彦 鈴木 裕雅	小関 英子
北村山広域行政事務 組合議会議員	塩原未知子	笹原 和子	青野 隆一
北村山公立病院組合 議会議員	須貝 孝	青野 隆一	
尾花沢市監査委員	菅野 修一		
尾花沢市 都市計画審議会委員	奥山 格 鈴木 清	大類 好彦	星川 睦子 塩原未知子

会派の構成

おばねクラブ (5人)	会長 加藤 克彦 塩原未知子	武田 佳久 鈴木 裕雅	大類 好彦
市政クラブ (4人)	会長 青野 隆一 和田 哲	須貝 孝	奥山 格
会派に属さない議員 (7人)	鈴木 清 笹原 和子	菅野 修一 伊藤 浩	星川 睦子 星川 薫 小関 英子



北町二丁目8-25
☎23-3185

さとし
和田 哲



若葉町三丁目16-20
☎24-1428

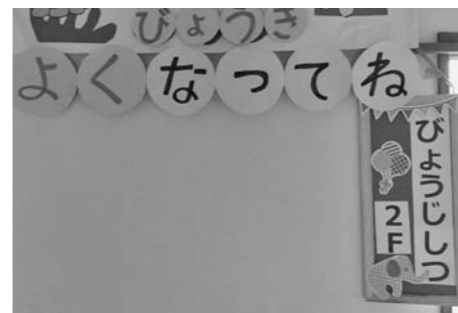
かおる
星川 薫

新人議員紹介

7月8日告示、15日投票の市議会議員補欠選挙(定員2名)は、無投票当選となり、新人議員2名が就任しました。

「尾花沢市学園都市構想」とは何か

市長…おもだか保育園と尾小の一体的な整備



病児保育所

問 病児・病後児保育をどう実現するのか。
答 小児科医と看護師の確保に努めながら市内だけに留まらず、広域的な取り組みなどさまざまな視点から実現に向けていきたい。

新市長は人口減少対策にどう挑むのか



菅野 修一 議員

問 移住・定住者へどう安価な宅地供給を実現するのか。
答 未利用となつている市有地を優先的に検討し、将来的には尾花沢学園構想により生じた市有地を安価な宅地として分譲していきたい。
問 進学される生徒達へ一定の条件を満たせば償還不要の奨学金制度を創設してはどうか。
答 給付型奨学金制度の創設は、卒業後の市内の居住や就職などの条件をどうするべきかや、財源確保の上で持続可能な制度設計を行う必要がある。国県の動向、先進自治体の事例を参考に、人口減少対策の一環として前向きに検討

していきたい。
問 間口除雪の拡充を約束されている。どう取り組んでいくのか。
答 高齢者や障がい者の雪の負担を軽減するため、間口除雪の拡充を図っていく。除雪業者の方々の協力を得ながら出来る所から実施していく。
問 流雪溝整備を加速化するため、どう取り組んでいくのか。
答 5ヶ年の実施設計を掲げ、社会資本整備総合交付金や過疎対策事業債などを充ちながら、水量の確保、勾配、導水路や流末排水路の整備などの課題が解決した所から順次整備を進めていきたい。

公約の文言修正(学園都市構想→学園構想)するならばその説明を果たすべきと思うが...



議員のつぶやき...

農業集落を守れ

問 耕作放棄地は鳥獣の格好の隠れ家である。これを解消するためどのような対策が必要か。
答 農業委員と農地利用最適化推進委員による戸別訪問の実施や各種事業の周知を図り、農地の保全と遊休農地の発生防止に努めていく。

問 人・農地プランでの担い手確保状況はどうなっているか。
答 35組織中25組織が担い手の不足状況となっている。

広域組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

10月9日、村山市議場で定例会を開き、平成29年度北村山広域行政事務組合一般会計決算1議案を上げ、満場一致で可決認定した。

平成29年度一般会計決算は、歳入1億245万5千64円、歳出9千633万8千255円、次年度へ61万6千809円を繰越した。北村山教育奨励賞については、平成29年度末、基金残高2千345万126円である。

基金の活用については、できるだけ多くの人材育成に寄与するように、柔軟に規約を改正すべきではとの意見も出された。

広域事業組合としての役割は、今年度より視聴覚センターの運営費だけになったため、児童数、学級数の減の影響もあり、時代の要請に対応した事業展開が必要な時期にきている。今後、広域で行う事業を協議検討することとし閉会した。

北村山公立病院組合議会

7月30日、第2回定例会が開催されました。平成29年度北村山公立病院組合事業決算認定についてのほか1案件が上程され、原案通り可決された。

公立病院の運営については、医師数の不足や建物の老朽化などによって、各市町の持ち出しが増加

7月30日、第2回定例会が開催されました。平成29年度北村山公立病院組合事業決算認定についてのほか1案件が上程され、原案通り可決された。

公立病院の運営については、医師数の不足や建物の老朽化などによって、各市町の持ち出しが増加

市町名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
東根市	2億5,547万円	3億2,591万円	3億2,765万円	4億2,182万円
村山市	1億9,743万円	2億5,231万円	2億5,323万円	3億525万円
大石田町	4,545万円	5,788万円	5,813万円	6,950万円
尾花沢市	6,899万円	8,770万円	8,806万円	1億1,664万円
計	5億6,735万円	7億2,380万円	7億2,716万円	9億1,322万円



気仙沼市立病院

し、大きな転換期にきている。

9月28日、医療圏の人口や病床数などが似ている気仙沼市立病院の視察研修を行った。

震災のために昨年移転改築したもので、待合室など病院とは思えないような斬新なデザインに驚かされた。また、医師体制は55名と倍近く確保され、人材を確保するための看護学校も併設している。公立病院の将来を描くうえで勉強になった。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会



ごみ焼却処理施設

9月28日、水道課・環境衛生課・下水道事業課からの説明を受けた後、毒沢の環境衛生センターで、ごみ焼却処理施設（全連続ガス化溶融方式）を視察した。

既存建屋は、昭和55年から使用されており、築後39年が経過している。

現焼却システムはダイオキシン対応のために、平成15年にストーカー方式からガス化溶融方式にシステム変更をして15年経過している。

平成27年に煙突の大規模補修工事をし、長寿命化を図っている。

今後、10年をめどに建



施設内部

屋と施設の更新が必要であると説明を受けた。

ごみ処理処分手数料は、施設への直接搬入が平成29年7月1日から10キロ150円を180円に改定した。

ごみ袋証紙の料金を、平成30年4月1日から（大）1枚30円を40円に（小）1枚20円を30円に改定した。

98号に対するモニターの声

線で囲んだり、数字を小さくするなど、金額が一目瞭然に分かるようにしてほしい。

一般質問の写真付きは、顔が見える市議会が伝わってすごく良い。

テーマごとに、議員の質問に対する市の回答をまとめてはどうか。

表紙は、子どもたちの真剣な表情がわかって大変良い。

他市町村の議会だよりに比べて、堅苦しくなく、高校生にもお年寄りにも読みやすいと思った。

内容の説明や量の多さが程よく、コンパクトにまとめられてあり読みやすい。

徳良湖100周年で、花笠踊りをして一周してはどうでしょうか。

銀山温泉案内人の戸津さん、何も無いところからよくここまで盛り上げたと感じます。

モニター委嘱を受け、熱心に目を通しました。議員の皆さまの苦勞が良くわかり感謝です！

文章ばかりだと、印象として難しく感じるので、もっと写真を入れたり、色などを使うと若い人たちにも読みやすくなると思う。

大々的に映っている写真があると、活発に動いている様子が伝わり、しかも若々しさが感じられてとても良い。

議会だより視察研修

福島県塙町と宮城県利府町に視察研修に行きました。より市民に関心を持つために、手に取り読んでもらえるように研修してきました。



利府町役場



塙町での研修

両町議会ともに、広報常任委員会として活動されていました。写真や見出しに興味をもってもらい工夫する。余白は大切に、表紙にはこだわりを持っている。など有意義な研修ができました。

私達も出来る事から取り組んでいきます。

首都圏尾花沢会

第34回首都圏尾花沢会総会と懇親会が、9月30日に東京のアルカディア市ヶ谷で開催されました。菅根新市長、議会からは須貝議長はじめ9名が参加し、今後ますますの関係強化に向けて心一つにして大いに盛り上がりました。

森山馨会長のあいさつにもあった、会員の高齢化や減少が課題となっており、今後の取り組みについても意見が交わされました。



花笠踊りを披露